

🌀 なかとんべつ 町議会だより

Volume

215

令和3年7月26日発行



6月26日こども園運動会

第2回定例会議決内容	3
私たちの一般質問	4
報告事項、議会だより	7
主な質疑及び答弁	8
議会の動き・編集後記	10

第2回定例会



令和3年第2回定例会が、6月17日から5日間の会期で開催され、冒頭の行政報告で小林町長から4点報告がありました。

1. 令和2年国勢調査結果について

5年に一度実施される国勢調査の速報値が発表され、当町においては、人口総数が1,638人、世帯総数が774世帯となりました。

前回の平成27年調査から人口総数は119人の減（減少率6.8%）、世帯総数は1世帯の減（減少率0.1%）となったところです。

2. 天北地域生活交通確保対策協議会の取組について

これまで様々な取り組みを行ってきましたが、人口減少、マイカー利用の増加などに加え、新型コロナウイルス感染症の影響により、自治体負担が過去最大という状況になりました。

このような状況から、天北宗谷岬線を現状のまま維持していくことは財政的にも厳しい状況にあることから、今後は新たな体制の構築を、令和4年10月を目標に、それぞれ隣接する市町村間での協議・検討を進め、協議会全体での情報共有と意見交換を進めていくことが決議されました。

3. 中頓別町国民健康保険病院の院長の交代について

令和2年12月2日から中頓別町国民健康保険病院で勤務されていた長島弘院長より一身上の都合により退職したい旨の申し出があり、受理することといたしました。

4. 新型コロナウイルス感染症対策について

緊急事態宣言発令に伴い、本町では、感染拡大防止の観点から、町内の公共施設の休館や町主催の事業を中止または延期などの措置を行いました。また、折り込みチラシ、防災無線を活用した町内放送などで周知啓発に努めてきました。

ワクチン接種は個別接種と集団接種の併用にて行い、個別接種は平日の16時から国保病院で実施し、集団接種は保健センターを会場に、土曜日及び日曜日で実施してきております。

現在の状況では、65歳以上の高齢者の516人（76.4%）が1回目又は2回目の接種を終えております。次に、基礎疾患のある方、60歳から64歳の方の順番で優先的に接種の予約を開始し、1回目の接種は6月19日に集団接種を行う予定です。

その後は、16歳以上の町民を対象に、6月26日から集団接種を行う予定ですが、接種を希望される町民の皆様が、7月末までに2回目の接種が終了できるように調整を図っております。

教育長の教育行政報告でも1点の報告がありました。

令和3年度「中学生ハワイ英語研修」事業の中止について

新型コロナウイルスの感染拡大のなか、ハワイ州の感染状況は「第3段階」であり、団体による行動に制限が課されています。航空機や宿泊の手配、ホームステイ宅の確保や感染症対策等に不安があることから、「中学生ハワイ英語研修」事業は中止します。

一般質問では、通告順に5議員が質問を行いました。

報告では、令和2年度一般会計予算を令和3年度に繰り越して使う「繰越明許費繰越計算書」のほか、町が資本金を出資している「有限会社中頓別振興公社」の令和2年度経営状況が報告されました。

町長から提案された、町税条例の一部改正、国民健康保険税条例の一部改正、一般会計補正予算に伴う専決処分の承認3件と、教育委員会教育長の任命の同意1件、条例改正及び補正予算を含む5議案を原案可決し、会期を4日残して17日に閉会しました。

第2回定例会で 決まりました



議決内容

○同意第2号 教育委員会教育長任命同意

教育長 相座 豊氏

田邊教育長の任期満了に伴い、相座教育長の任命に全会一致で同意しました。

(任期3年 令和3年7月1日)

令和6年6月30日)



相座教育長 (前こども園園長)

○承認第2号 専決処分の承認(一般会計補正予算 3月17日専決)

歳入歳出に51万7千円を追加し、総額を4億271万9千円に。中学校の校舎修繕料を追加するもの。

○承認第3号 専決処分の承認(税条例の一部改正 3月31日専決)

地方税法等の改正による、住民税関係、軽自動車税関係、固定資産税関係などの特例規定の整備に係る改正。

○承認第4号 専決処分の承認(国民健康保険税条例の一部改正 3月31日専決)

個人所得課税の見直しに伴い、国民健康保険税の減額に係る改正。

○議案第26号 税条例(一部改正)

地方税法等の改正による、住民税関係の特例規定の整備に係る改正。

○議案第27号 一般会計補正予算

歳入歳出に4千628万6千円を追加し、総額を3億3千904万2千円に。主に新型コロナウイルス感染対策に係る経費を追加するもの。

○議案第28号 水道事業特別会計補正予算

歳入歳出に130万円を追加し、総額を1億1千393万1千円に。敏音知ポンプ場の修繕料を追加するもの。

○議案第29号 工事請負契約の締結

下水道管理センター外電気・機械設備更新工事にかかる契約の締結。

○議案第30号 物品売買契約の締結

除雪ドーザ購入にかかる契約の締結。

※ ○は原案可決

ここが聞きたい、知りたい

私たちの一般質問

細谷久雄 議員



質問

持続可能な開発目標(SDGs)について

小学校では令和2年度の4月から新学習指導要領が完全実施され、また、令和3年度からは中学校でも新学習指導要領に基づいた教育活動が開始されました。新しい学習指導要領では、子どもたちが持続可能な社会の創り手となることを期待し「生きる力」を育む教育がより一層求められる。そこで、中頓別町の学校現場においてはこのような社会を生き抜く力を育む教育について、どのように取り組んでいるのか教育長に伺います。

答 弁 ○田邊教育長

小中学校とも教科学習(社会・資源・理科・気象変動等)、総合的な学習の時間(ジエン

ダー・健康・福祉・環境等)、教科や学年の枠を超えた活動を通して、主体的、対話的、深い学びとして直接、間接に取り組んでいると認識しています。これらの教育活動を通して、児童生徒がそれぞれの発達段階に応じた①世界へ目を向け問題を発見する力、②必要な情報を自ら調べ選択する力、③正解のない問題に立ち向かう力等が育まれ、中頓別町の未来につながることを強く期待しています。

東海林 繁幸 議員



質問

銭湯「黄金湯」の経営支援について

「黄金湯」は民間(渡辺由起子氏)による経営で、経営者の努力により令和2年の営業実績は、営業日数270日、1日平均利用者数22.7名である。これは町の人口比から多

数の利用があると認められる。今、施設の存続が経営者の大きな課題となっています。

施設、設備の老朽化、ボランティアの高齢化、経営の困難性から経営者のモチベーションの低下等多くの課題が山積している。

存続に大きな困難を抱えて苦慮している。

一方、多くの町民は「黄金湯」の存続を望んでいます。公衆浴場とただだけでなく、渡辺氏の意図である「まちづくり活動の拠点」として期待することも大きく、この町にとってなくてはならない存在と思う人達も多くいます。

町理事者として「黄金湯」の評価、今後の存続についてどのように考えていますか。

答 弁 ○小林町長

町が閉鎖した銭湯を復活させたこのプロジェクトは、町民交流、高齢者の居場所づくり、障がい者雇用、薪を活用した脱炭素社会の提言、薪ボランティアの仕組みづくり等は、まちづくりの活力を生み出したと評価しています。

今秋で閉鎖すること、存続すべきとの問い合わせを受けているが、事業者の考えを尊重した上で、利用者が閉鎖により困らないよう対策を検討したい。ピンネシリ温泉も施設の限界を迎え、入浴施設が同時に限界となることを想定し、役場内で現状と課題、今後について検討し近く方向性を示したいと考えている。



設備の老朽化により今後の稼働が困難になっている黄金湯

再質問

この質問提出までは銭湯に対して、町の適度な支援があれば継続の可能性を期待したものであったが、最近、渡辺氏と協議した結果、10月10日をもって機械設備が稼働できることを前提とし閉鎖する。

但し、その他の活動は継続し、浴場を継続する人がいれば全面的に応援をしたいとのこと。

町として施設設備を改修し、銭湯を継続する考えはありませんか。

答 弁 ○小林町長

そのことについても今後関係者と協議し、利用者のことを念じつつ検討します。

高橋憲一議員



質問

町民の入浴環境の支援について

町民の入浴サービスを受け持っているのは、個人で運営されている銭湯とピンネシリ温泉がありますが、町内の個人経営の銭湯が休業を予定しているように伺っています。

将来は町内に温浴施設を検討していますが、町内に一時的にせよ入浴施設が無くなるのは、町民にとって不便を強いられることになります。

現在は昼間の温泉送迎が行われていますが、銭湯の場合、終業後の利用が多いように思います。そこで温泉送迎の夜間の実施は出来ないか伺います。

答 弁 ○小林町長

ピンネシリ温泉の無料送迎につきましては、指定管理者が収益向上のため、火、木、土曜日の週3回で実施しておりますが、利用者は令和元年度1,358人、令和2年度1,246人、一回当たりでは、平均約9人の利用となっております。

黄金湯が利用できなくなる場合の送迎などの対応につきましては、庁内関係部署及び指定管理者と協議の上、検討いたします。

宮崎泰宗議員



質問

新型コロナウイルス感染対策の状況について

新型コロナウイルスの国内新規感染者数等について

4月に入るとは、一時的な減少傾向も見られたが、大方の予想通り、ゴールデンウィークの前を境に、その状況は一変し、緊急事態宣言の対応が遅れた。ここ北海道では、感染者数等の過去最多を大幅に更新するなど、過去最も悪化した状態に陥りながら、北海道はワクチンの接種率も低いと報じられていることから、その状況等について伺う。

また、年度末に急遽、前年度予算の中から一律で20万円の支援金を飲食店に支給するとの考えが示されたが、議会の中でも不公平との意見があったことから、他の民間事業所や町民に対する支援の考え方についても伺う。

答 弁 ○小林町長

中頓別町におけるワクチン接種については、4月後半から医療従事者（病院、歯科診療所、薬局、消防）への優先接種を開始し、最新の状況では、2回接種、1回目、またはその予約を行った段階にある方は、町内16歳以上の対象者1,495人のうち、その76.6%にあたる1,146人となっている。今後についても、希望するすべての町民ができるだけ早く接種できるように、集団接種日の追加や、都合がつかない方への個別接種に対応していく考えである。ワクチンについても16歳以

上の全対象が2回接種できるだけの2,990回分を確保できる見通しとなっており、供給されているものは、すべてファイザー製で町立国保病院の超低温冷凍庫で保管している。報告しなければならぬ重い副反応は、現在のところ薬疹反応1名のみで、この方については2回目の接種を控えている。キャンセル対応については、接種予約の際に日程変更の可否を伺って調整してきたほか、優先接種対象である高齢者施設の従事者に受けて頂くことで対応してきた。なお、対象者以外の方を優先にして接種は行っていない。

支援金については、新型コロナウイルス感染症対策の中で、年末年始や歓送迎会等の会食自粛が呼びかけられたことから、特に町内では飲食店においてその影響が大きくあったと認識していることから、中頓別町商工会とも相談し、過去2年間の売り上げ等の状況を考慮した支給要件を設定した上で支援する形とした。

また、商工会からの要望を受け、全町民に対して町内の商工業事業所で利用可能なクーポン券配布事業を実施し、地域内での消費拡大を図りたいと考えている。その他の地域経済対策としては、今年度のプレミアム商品券発行事業補助に対して、特に新型コロナウイルス感染症の影響による対策分として補助額を上乗せすることとしており、

地域経済活動の活性化を期待している。



新型コロナウイルスワクチン接種の様子

西浦岩雄 議員



質問

GIGAスクール構想について

文部科学省のGIGAスクール構想に沿って学校にタブレット端末が導入されたが、改めてGIGAスクール構想の目的は何なのかを伺う。

答 弁 ○田邊教育長

目的は、一人一台端末環境と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで文科省はSociety 5.0の時代を生き抜くためにはICTの積極的な活用が不可欠ということで「GIGAスクール構想」を推進しています。導入後の現状ですが、児童生徒は様々な場面で活用しており、児童生徒はタブレットの配布を前向きに受け止めています。また外部からも支援していただくように提携しております。

また、家庭内でのタブレット端末による学習によるネット環境は整備されており、有害なネット情報についてもブロックされており、有害な情報に出くわす危険性はありません。ネット環境サポート体制についても小学校、中学校それぞれに精通した教師がいて問題ありません。

冒頭の回答にもありましたSociety 5.0ではサイバー空間とフィ

ジカル空間の高度な融合が重要であると文科省では提言しているが、これについては難しい質問ですが、IoTとAIを使用する社会がますます進化して言動の大半が実現していくことがSociety 5.0の社会と考えています。

質疑・質問は要約されています

スペースの都合上、審議した議案や質疑・質問と答弁の内容を要約して載せています。

会議の内容は、会議録に詳細に記録されており、ご覧になりたい方は議会事務局までお問い合わせください。

報 告 事 項

※ 町が出資する法人等は、毎年度、経営状況を議会に報告しなければなりません。

報告第2号 有限会社中頓別振興公社の経営状況報告

寿レクリエーション施設、一般廃棄物処理施設、鍾乳洞ふれあい公園、国保病院管理清掃、有害鳥獣処理施設業務等を営む同社全体の令和2年度決算状況は次のとおりです。

当期純利益が1,400,420円となりました。

●損益計算結果、貸借対照表

・収益合計	80,467,193円
・費用合計	78,576,662円
・営業利益	1,890,531円
・当期純利益	1,400,420円
・資産合計	25,681,897円
・負債合計	5,033,329円
・純資産合計	20,648,568円



有限会社中頓別振興公社

※ 繰越明許費（くりこしめいきょひ）は、予算に計上されているが、年度内に支出が終わらないと見込まれるものについて、予算に定めることにより、翌年度に繰り越して支出することができるものです。

報告第1号 令和2年度一般会計繰越明許費繰越計算書の報告

令和2年度から令和3年度に次の事業予算が繰り越されました。

（単位：千円）

事業名	繰越金額
高速ネットワーク通信環境整備推進事業	163,434
中頓別町電子自治体推進事業	1,956
草地整備型公共牧場整備事業	27,500
小学校施設維持管理事業	312
中学校施設維持管理事業	560
合 計	193,762

議員だより ～私の思い～

この「コーナー」は、それぞれの議員が町づくりや議会活動などについて思いを綴るものです。

『ラグビーワールドカップ2019から学んだこと』

ラグビーワールドカップ2019で、私も「にかラグビーファン」の仲間入りをしました。4年前に日本代表が南アフリカに勝利した際に五郎丸のファンになり、ラグビーを好きになりました。今回も日本代表の活躍につれて、ついつい応援してしまいました。もちろんスポーツとしても面白かったのですが、選手やコーチの名言も印象的でした。

まずは「犠牲」。
大会期間中、日本代表選手がよく口にしていたのが「すべてを犠牲にしてきました」でした。華やかな大会は、4年間もの長い間のいろいろな犠牲の上に成り立っており、それを聞くと、これからの試合を見る目も変わってきます。

次は「覚悟」。
前回のワールドカップの時に日本代表の五郎丸選手が「何かを得ようとするなら、何かを犠牲にしなければならぬ」という言葉を残しています。何かをする時に十分な覚悟をして臨んでいるか、反省をさせられました。

最後は「準備」。
ニュージーランドのオールブラックスを破ったイギリス代表のエディ・ジョーンズヘッドコーチが「この試合のために（組み合わせが決ってから）2年半準備してきた」と振り返っています。組み合わせが決ったとはいえ、自分たちのチームや相手チームがどこまで勝ち上がるかわからない中、入念に準備を進めてきた先見性と準備力には、頭が下がります。

今回の大会を通して、「犠牲・覚悟・準備」一流が備えている要素について学ばせていただいた氣がしました。

（綴人・細谷久雄）

議案審議の

主な質疑及び答弁

議案第27号 一般会計補正予算

Q. 2点ほど伺います。まず町道維持補修について、林道ではない町道の砂利道にはグレーダーをかけてくれますけど、ここ数年穴はあいても補修してくれない。要するに、砂利も何も入れてくれない状態なので、農家などからトラクターやトラックなどが走って相当バウンドして危ない状態もあることを伺っておりますので、今どのような形で補修しているのかお伺いしたいと思います。

(星川議員)

A. 町道の維持補修にしましては、今民間委託になっていきますので、今まで町がやっていたことと同様に当たっている考えでございますけど、必要であれば確認しまして対応していきたいと思えます。

(土屋建設課長)

Q. 松音知にある担い手研修宿泊施設があります。そのことについて伺います。施設には、未だに研修生ではない方が入っている。あの施設は担い手研修宿泊施設で、町内の農業を体験して研究して、ゆくゆくは新規就農で入りたい方々の宿泊施設だと思えます。今入られている方は確かに、最初はそういう形で来ました。でも、今

はある会社の従業員です。担い手研修宿泊施設の規則、規約等があると思えますけど、今後の指導はどういう形でなされているのか。担い手で早急に中頓別町で研修したいと言ってきた場合、今そういう状態で居れば、そのような住宅がない。本来はそこに入るはずが入れないということ、現在入っている方も移住先もなければ出ていけないので、この件について、話をしているのかお伺いします。

(星川議員)

A. 今お話のありました住宅につきましては、町営の住宅でありますけど、担い手センターに研修専用住宅として無償での貸し付けをする契約をしております。これまでそういったように記憶しております。現在入居されている方にも、担い手センターで支援して入居していただいた方があります。

この方については、想定していた入り先農家の方の事情もあって、そこでの就農が実現しなかった。この辺については、担い手センター側の問題があったと思えますけど、他のドリームジャンボファームの従業員になられて、研修していただいて何とか本町に定着していただける状況になって良かったと思っております。お話があったように住宅につきましては、担い手のための住宅でありますので、空けていただくことが望ましいけれど、担い手対策本部の中でも3月は難しいので、もう少し時間が経って退去と

いうことでの相談をかけているところですけど、ご本人も本町に家を建てて定住して働き続けた意向をお持ちであります。ただ実際に家が建つのはすぐではないので、それまでの間、引き続き住宅に住まわせてもらえないかの相談を受けたところであります。担い手対策本部会議で取り扱いについて協議することになっておりますけど、一方で今お話あった新たな担い手を受け入れる場合については、速やかに転居することもお話になっているので、今そのあたりの状況、取り扱いを対策本部会議で検討して、その後町との協議になると思えます。いずれにしても良い形で納まるようになればいいと思っていますし、そのことに伴って新たな担い手の受け入れを停止することがないように町としても対応していきたい。

(小林町長)

Q. 町長が代表ということで説明もらいましたけど、担い手の年数は2年です。2年過ぎても家賃がかからない。それは他の従業員と比べればおかしいのではない。今年4月から夫婦で入った従業員が何万円もかかる住宅にいて、担い手住宅に住んでいる方は、住宅費は0だと思えます。ただ何かの形で何千円は納めなければならぬと記憶していますけど、その点はどういうことになるのかお伺いします。

(星川議員)

A. 先ほど申し上げましたように、あくまでも担い手対策のための住宅で無償となっています。

研修生の取り扱いが終わった時点で、入居の部分については本来の住宅使用料は町としてもいまだかなければならないと考えておりますので、そこは対策本部会議でも臨時的なことになりま

(小林町長)

Q. 今町長から説明ありましたが、今後住宅を町内で建てて生活すると言っていますけど、口約束だけではなく、それなりの書類等を担い手対策本部に提出しているのか。

(星川議員)

A. 産業の担当でもその確認はしています。対策本部会議でその辺も含めて確認して一定の考え方を整理してもらうことになると思います。確実にそこをくみ取ったうえで進めることについてはそのようにしたい。

(小林町長)

田邊教育長

6年間お疲れさまでした！

任期満了に伴いこの度、退職となりました。

2期（平成27年7月1日～令和3年6月30日）にわたり教育長として教育行政にご尽力いただきました。

議会においても、議員からの質問に対して丁寧にお答えいただきました。

本当にありがとうございました。



田邊前教育長

全員協議会（6月17日）



（協議事項）

- 1 長寿園財政状況について
- 2 建設課から情報提供について
（日立レック跡地の状況、水道メーター検針の状況）

議会の動き

4月

19日 宗谷町村議会議長会定期総会（稚内市）

5月

2日 令和3年成人式

6月

2日 議会運営委員会

7日 議会運営委員会

14日 議会運営委員会

17日 第2回定例会

全員協議会

30日 戦没者追悼

7月

2日 議会広報編集特別委員会

8日 議場設備説明会

いきいきふるさと常任委員会

13日 議会広報編集特別委員会

※行事等については、新型コロナウイルスの感染防止のため規模を縮小したことにより、来賓として出席が出来なくなっています。

議会を傍聴しましょう

議会は、町民の暮らしに直結する税や福祉などの身近な問題を議論する大切な場です。

議会では、議会だよりで情報の提供に努めていますが、町政の動きを定例会や各種委員会を実際に傍聴し、自らの目と耳で知ることが大切です。

次の定例会は、9月に招集されます。日程は、議会だより臨時号などでお知らせします。

ホームページで議事録などを公開しています

中頓別町のホームページ

(<http://www.town.nakatombetsu.hokkaido.jp>)で議会だより、定例会の議事録などを公開しています。

町ホームページから **中頓別町について** ⇒ **中頓別町議会**、又は **行政情報** ⇒ **議会** へ進みご覧ください。

議会日程や傍聴の手続き、請願・陳情などのお問合せは、Tel 6-2244（議会事務局）へ。

※新型コロナウイルスの感染拡大により、傍聴を制限する場合がございますので、予めご了承ください。

発行 中頓別町議会
編集 議会広報編集特別委員会
お問合せ ☎098-5595
北海道枝幸郡中頓別町字中頓別172番地6
tel (01634) 6-2244（直通）
fax (01634) 6-1155



子どもたちも一生懸命がんばっています！

編集後記

いつも議会だよりをご覧いただき大変ありがとうございます。

広報編集特別委員一同、町民の皆様に議会活動を知って頂くために、わかりやすく、読みやすい紙面の編集に取り組んでいきますので、一読下さることを切に願っております。

新型コロナウイルス感染症のまん延が依然続いており早2年が過ぎてしまいました。私たちの生活も何かと不自由で我慢を強いられており、楽しみの機会すら失われております。町のイベントも、鍾乳洞芝桜まつりから始まり夏から秋にかけて盛りだくさんのはずが、すべて中止となり、寂しい限りです。

そんな中、本来6月第3週は敏音知岳の山開きの日に2年ぶりにスキー少年団の希望者とともに登頂してきました。当日はあいにくの曇り空ではありませんでしたが、みんな元気に登り切りました。

この時期山頂では、チシマザクラを見る最後の機会でもあるのですが、今年は季節が少し早いようで、一輪の花もなく葉桜となっております。自然界は時期のズレはあるものの普通に移動り変わっていくのに、私たちは新型コロナウイルスに右往左往するばかりです。

我が町のワクチン接種も順調に進んでいる様子であり、平常の暮らしを一日でも早く取り戻せることを切に願っております。

議会広報編集特別委員会（長）